



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

令和7年2月26日

February 26, 2025

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

3月園だより



一人ひとりの輝き

園長 河合 晴美

玄関前の梅の花が寒さに負けず、少しずつ、少しずつ開花しました。この花が咲き始めると幼稚園に春がやってきます。茶色のアジサイの芽が開き、池の周りにカエルが見られるようになります。氷ができていたトンボ池も畑に植えたジャガイモにも変化が見られるようになります。

今年度、90周年を迎えた南山幼稚園では、今年度ならではの活動を計画し実施してきました。また、通常実施している活動も充実できるように工夫し行ってきました。保護者の皆さまの御協力、御理解をいただき、間もなく全てが無事に終了します。

今、3歳児りんご組は、大人がいなくても自分たちで遊びをつくっていく姿が見られます。積み木一つ並べることも、箱に紙を付けるためにセロファンテープで貼る様子にも思いがあり、自分の力で歩んできた姿として受け止めることができます。

4歳児ばら組は、遊んでいる中にも自分をアピールする姿が見られます。できるようになったことを自分の力で試していき、納得するまで夢中で取り組むようになりました。元気をいっぱい表す姿に年長組への期待と頼もしさを感じます。

5歳児さくら組は、残り少なくなった幼稚園での生活を友達と一緒に進めています。周囲の様子や時計を見て、自分で生活の仕方を判断しています。友達と思いきり体を動かして運動遊びをすることと自分のやりたいことに集中して取り組む時間を考え、行動しています。絵をかくことやものをつくることでは、自分の考えと向き合いながら思いを実現しています。

3月を迎えようとする幼稚園では、今それぞれの場でそれぞれの子どもたちが輝いています。何かを成し遂げようとする姿、自分で考えながら行動する姿、それぞれの幼児の持ち味から表される言葉、その一つ一つが尊い姿であり、とても愛しい時間が流れています。この時間も数日が過ぎ、4月になれば新しい環境になります。それぞれの幼児にとっては大きな変化となります。それでも今の姿を見ていると「きっと大丈夫」と言える姿となっています。残りの日々で子どもたちには「この力をもっていれば大丈夫」となるように具体的なことを伝え、自信につなげていきます。そして、これからも新しい自分を見つけ、大きく可能性を広げてほしいです。保護者の皆さま、地域の皆さま、1年間そして3年間、幼稚園を支えていただき誠にありがとうございました。



<各学年のおひなさま・・・おひなさまと一緒に茶会をします>